



第49号

平成30年5月1日 発行

輪 島 市

# 議会だより



東陽中学校入学式



輪島中学校入学式



門前中学校入学式

## 【目次】

第1回定例会の概要	2	常任委員会報告	8
第1回臨時会の概要	3	議決結果	10
代表質問	4	議会日誌・編集後記	12
一般質問	5		

発行 / 輪島市議会 編集 / 議会報編集委員会

輪島市二ツ屋町 2-29 TEL0768-23-1182 FAX0768-23-1180  
ホームページ <http://www.city.wajima.ishikawa.jp/categories/bunya/gikai/>

# 平成30年 第1回 定例会

会期／2月9日～2月26日

## 新年度骨格予算を可決！

2月9日から18日間の会期で第1回定例会を開催しました。

市長から提出のあった平成30年度一般会計予算案、条例などの議案31件、平成29年度補正予算案10件、議員から提出があった議会議案1件を審議した結果、いずれも原案のとおり可決しました。

### 平成30年度当初予算

予算総額 360億7,919万2千円

一般会計 186億1,000万0千円

特別会計 84億1,680万6千円

企業会計 90億5,238万6千円

◎平成30年第1回定例会 平成29年度2月補正予算額

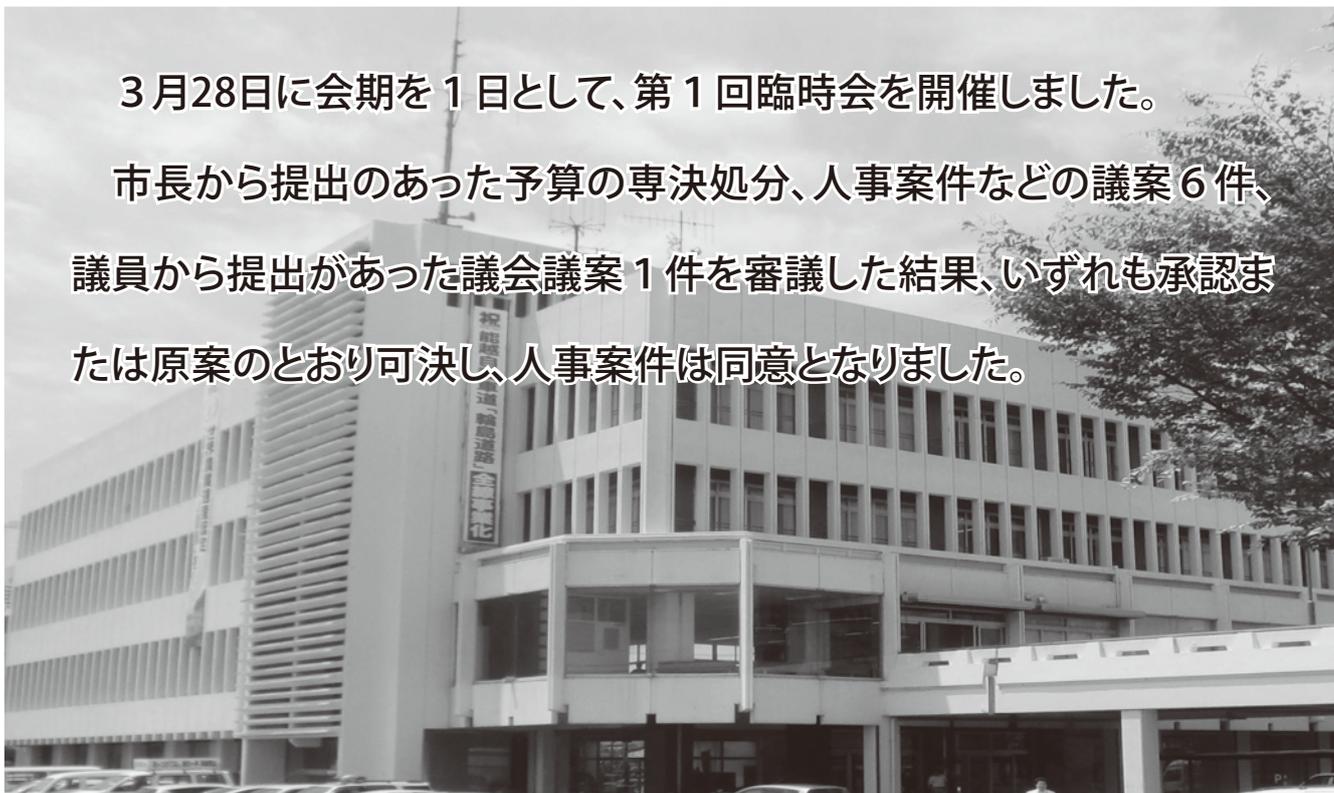
	補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
一般会計	228億 508万0千円	3億 313万7千円	231億 821万7千円
特別会計	111億7,972万7千円	889万9千円	111億8,862万6千円
企業会計	65億2,767万6千円	△ 1,086万9千円	65億1,680万7千円
合計	405億1,248万3千円	3億 116万7千円	408億1,365万0千円

# 平成30年 第1回 臨時会

会期／3月28日

3月28日に会期を1日として、第1回臨時会を開催しました。

市長から提出のあった予算の専決処分、人事案件などの議案6件、議員から提出があった議会議案1件を審議した結果、いずれも承認または原案のとおり可決し、人事案件は同意となりました。



◎平成30年第1回臨時会 平成29年度3月補正予算額

	補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
一般会計	231億 821万7千円	4,000万0千円	231億4,821万7千円
特別会計	111億8,862万6千円	0千円	111億8,862万6千円
企業会計	65億1,680万7千円	0千円	65億1,680万7千円
合計	408億1,365万0千円	4,000万0千円	408億5,365万0千円

## 市民の声募集！

議会報編集委員会では、市民の皆様の声を募集しています。

■お問い合わせは

市議会事務局

TEL (23) 1182

FAX (23) 1180

Eメール: gikai@city.wajima.lg.jp



## 市議会を傍聴してみませんか

- ・本会議は議場で傍聴できます。
- ・傍聴席の定員は51名です。
- ・議会日より、紙面の都合上、各議員の質問と答弁の一部を掲載しています。
- ・正式な会議録は、次回の市議会定例会までに作成され、議会事務局や市立図書館で閲覧できます。



玉岡 了英 議員  
 (所属会派) 拓政会  
 (党) 自由民主党

質問した項目

- ◎断水について
- ◎雪害対策について
- ◎市財政について
- ◎教育について
- ◎国民健康保険について
- ◎介護保険について
- ◎門前総合支所について
- 断水について

水が発生しました。

今回は、本市指定給水工  
 事業者だけでも漏水修理の  
 依頼件数は、700件を超えて  
 います。

**問** 広範囲に断水が発生  
 した原因は何か伺いま  
 す。

また、浄水場の配水能力  
 に問題はなかったのか伺い  
 ます。

**答** 1月24日から26日に  
 かけて、記録的寒波に  
 より市内全域において多数  
 のご家庭で給水管が凍結し、  
 破損しました。

その後の気温の上昇とと  
 もに凍結している給水管内  
 の水が溶け、市内全域で漏

**問** 断水への対応と復旧  
 が遅れた原因は何か伺  
 います。

**答** 断水エリアは、最大  
 2千261世帯で発生し、  
 断水への対応としましては、  
 断水状況の周知や応急給水  
 活動が挙げられ、市民の皆  
 様方への周知につきまして  
 は、防災行政無線やホーム  
 ページ、ケーブルテレビ、  
 広報車を利用し、対応しま  
 した。

応急給水活動では、一時  
 に十分な水の供給が不足  
 する状況が予測されました  
 ので、自衛隊や日本水道協  
 会石川県支部に応援を要請  
 し、対応しました。

今回は給水管からの漏水  
 によるものであり、復旧が  
 遅れた原因としましては、

次の4点が考えられます。

1点目は、漏水箇所が公  
 道ではなく宅地内にあるた  
 め漏水箇所の発見が遅れた  
 ことです。

2点目は、宅内の漏水確  
 認はメーターで確認を行いま  
 すが、積雪により水道  
 メーター自体が雪に埋もれ  
 ていたために、漏水確認作  
 業が手間取ったことです。

3点目は、空家での漏水  
 確認作業はメーターの位置  
 が特定できず、除雪もされ  
 ていないことが重なり大幅  
 に遅れたことです。

4点目は、水道本管の高  
 い所に空気が入り、送水作  
 業に時間を要したことです。  
 これらに加えて、本市は、  
 ポンプ場56箇所配水池48箇  
 所を有しており、面積は県  
 内で3番目に広く、地形の  
 高低差が大きいことが復旧  
 の遅れた原因と考えていま  
 す。

**問** 教訓を今後どう活か  
 すのか伺います。

**答** 今回は、能登半島地  
 震の経験を踏まえ、新

たな試みとしまして、起伏  
 のある地形に埋設された水  
 道本管のエアークロスのある  
 路線に対し、輪島消防署と  
 の連携のもと消防ポンプ車  
 を利用し圧力をかけること  
 で難所を通水することがで  
 きました。

今後、万一断水が発生し  
 た際には、同様の方法で、  
 早期復旧に努めたいと考え  
 ています。

さらに、現場にたどり着  
 けなくても配水池等の機械  
 操作を遠隔できるような施  
 設整備を実施することで、  
 不測の事態に陥っても断水  
 期間の短縮を図り、水の安  
 定供給ができるよう努めた  
 と考えています。

また、今回のような記録  
 的な寒波による漏水対策に  
 つきましても、地域防災計  
 画に明記することとし、市  
 民の皆様方に周知を図りた  
 いと考えています。

合わせて、数箇月水道を  
 使用していない空家につき  
 ましては、正確なメーター  
 位置を把握し、空家の漏水

対策を実施したいと考えて  
 います。

今回の応急給水によりご  
 支援をいただきました自衛  
 隊や日本水道協会中部地方  
 支部の応援自治体の皆様方  
 漏水修理に奔走された本市  
 水道指定給水工事業者の皆  
 様方あるいは、宅内漏水確  
 認にご協力いただいた皆様  
 方に心から感謝を申し上げ  
 るとともに、断水によりご  
 迷惑をお掛けいたしました  
 市民の皆様方に対しまして  
 深くお詫び申し上げます。





議員 下 善裕  
（所属会派） 勇無所  
（所属党派） 無所

質問した項目

◎手話言語条例について  
◎ふらっと訪夢周辺の環境について

手話言語条例について

**問** 手話ほろろ者が情報を取得し、その意思を表示し、他者との意思疎通を図るために必要な言語であると認識されているが、輪島市において手話言語条例の制定は必要でないか。

**答** 聴覚に障害をお持ちの方々が、住み慣れた地域で、心豊かに暮らし続けるため、手話は必要不可欠なものであると考えています。

平成23年の障害者基本法の改正により、手話が言語として位置づけられ、平成25年10月に鳥取県において全国初となる手話言語条例が制定され、現在では127自治体で制定されています。

治体で制定されています。

本市におきましても、聴覚に障害をお持ちの方がいらっしゃるから、これまで週2回福祉課に手話通訳士を配置して対応してまいりましたが、円滑な意思疎通を図ることが必要であることから、常勤で手話通訳士を配置したいと考え、当初予算案に人件費を計上したものです。

手話への理解を深めていただくとともに、円滑な意思疎通の確保を図り、障害のある方もない方もお互いに理解し合う、共生社会実現のためにも早期の条例制定が必要であると考えています。

ふらっと訪夢周辺の環境について

**問** 輪島中学校の新校舎移転や観光案内施設の

再整備により、ふらっと訪夢周辺の人の流れが多くなると思われるが、安全・安心な環境整備について対応はどうするか。

**答** 道の駅輪島ふらっと訪夢は、昨年11月22日に全国の道の駅において、地域交通拠点の模範施設として国土交通省から認定をいただき、関係機関からの視察などが増えてきています。

さらに、2月5日からは、輪島中学校の新校舎の利用が始まり、輪島高校も含め通学利用者の拠点施設となるなど今後来訪者が増加する見込みであることから、利便性や安全面にもさらなる注意を払っていく必要があると認識しています。

そのことから、まず、安全面につきましても、構内の数箇所に防犯カメラの設置を行い、犯罪等を未然に防ぎ安全・安心を確保し、利便性につきましては、中央コンコースに腰掛けベンチを増設し、待合場所の充実を図りたいと考えています。

現在では企画課と商工会議所の兼務で行っています。専任のスタッフを配置し「ふるさと納税推進室」を設置してはどうでしょうか。また、返礼品については、市民から公募した選考委員で決定することにより、広く地場産商品が提供できるとともに公平性が保たれるのではないのでしょうか。

質問した項目

◎ふるさと納税について  
◎若手漆芸作家に対する活動支援について

ふるさと納税について

**問** ふるさと納税が地場産業に及ぼす経済効果は極めて大きく、目標金額を10億円に掲げ、もっと戦略的に取り組むべきであると考えます。

現在では企画課と商工会議所の兼務で行っています。専任のスタッフを配置し「ふるさと納税推進室」を設置してはどうでしょうか。また、返礼品については、市民から公募した選考委員で決定することにより、広く地場産商品が提供できるとともに公平性が保たれるのではないのでしょうか。

現在では企画課と商工会議所の兼務で行っています。専任のスタッフを配置し「ふるさと納税推進室」を設置してはどうでしょうか。また、返礼品については、市民から公募した選考委員で決定することにより、広く地場産商品が提供できるとともに公平性が保たれるのではないのでしょうか。



議員 坂本 賢治  
（所属会派） 市政会  
（所属党派） 無所

質問した項目

◎28年度の寄附額は約3億8千万円です。

若手漆芸作家に対する活動支援について

**問** 29年度から若手漆芸家支援補助として、若手自らが企画して開催するグループ展等の開催経費の一部を補助しており、新年度からは、補助対象となるグループの最小構成人数を5人から3人として支援し、また、漆器業界と連携し、今後も意見交換する場を設けつつ効果的な支援を続けたいと思えます。

再度、若手漆芸家との意見交換会を開く必要があると思うがどうか。また、市内空き校舎等を利用して、共同制作活動のできる工房やギャラリーができないかも併せて伺います。

漆芸家が多くいます。この方々が輪島塗の後継者となる人材ですが、これまでの支援策は必ずしも若手漆芸家の求めている支援策になっていないように思えます。

漆芸家が多くいます。この方々が輪島塗の後継者となる人材ですが、これまでの支援策は必ずしも若手漆芸家の求めている支援策になっていないように思えます。

再度、若手漆芸家との意見交換会を開く必要があると思うがどうか。また、市内空き校舎等を利用して、共同制作活動のできる工房やギャラリーができないかも併せて伺います。

**答** 29年度から若手漆芸家支援補助として、若手自らが企画して開催するグループ展等の開催経費の一部を補助しており、新年度からは、補助対象となるグループの最小構成人数を5人から3人として支援し、また、漆器業界と連携し、今後も意見交換する場を設けつつ効果的な支援を続けたいと思えます。

共同制作活動ができる工房についても若手の意見や要望を聞きながら見極めていきたいと思えます。



議員 邦夫 鏡  
所属(党) 日本共産党 日本共産党

質問した項目

○生活保護費について

○介護保険について

○議案第17号「輪島市国民健康保険条例の一部改正」について

○国民健康保険税について

○輪島病院の差額ベッド料について

○米の所得補償廃止について

○議案第11号「輪島市門前交流センター条例の制定」について

○除排雪について

○断水について

米の所得補償廃止について

問 私たちが日々、口に  
するご飯は、茶わん一  
杯22円ほどだそうですね。

流通業者の利益や経費を  
差し引くと農家の手取は、  
60kg1万1千円程度にすぎ  
ず、生産費の1万6千円に

届きません。

平成22年に始まった「農  
業者戸別所得補償制度」は、  
生産調整（減反）と「直接  
支払交付金」により稲作農  
家の経営を下支えしてきま  
したが、平成30年度から廃  
止されます。

規模が大きいほど減収が  
多くなるなど稲作農家の経  
営困難に拍車がかかります。  
さらに政府による減反政  
策の廃止も、米価の不安定  
要因になりかねません。

農家の皆さんから不安の  
声が上がっています。  
米の「直接支払交付金」  
が廃止された場合、輪島市  
の農家への経済的影響はど  
れくらいですか。

農家経営への影響を緩和  
するため、輪島市としてど  
のような対策を考えていま  
すか。

答

本市における平成29  
年度の当該交付金の状  
況は、対象面積が約930ha、  
対象件数は935件に対し交付  
額約7千万円でありますの  
で、その額が本市の農家  
において、経済的減少の影響  
を受けるものと考えられま  
す。

本市としましては、今後  
も継続される水田活用交付  
金など国の支援を最大限活  
用し、麦や大豆、飼料用米、  
産地戦略作物等への転換と  
いった水田フル活用による  
複合経営などの農地活用の  
高度化を進めてまいりたい  
と考えています。

また、農地の集約化によ  
る規模拡大を図り、付加価  
値の高い環境に配慮した能  
登米や能登棚田米などの作  
付けを推進することにより、  
農家所得の維持向上に取組  
んでまいりたいと考えていま  
す。

質問した項目

○手話通訳士について

○防災無線について

○能登の国建団一三〇〇年  
について

防災無線について

問 大きな寒気団により  
能登地区では各地で、  
水道管が凍結し、寒気が緩  
み、漏水を起こし、市内で  
も中心部を除く山間部では  
水のない生活が何日も続き  
ました。

断水している間、「いつ  
になれば水が出るのか、早  
く回復させて欲しい。」と  
の苦情電話などが、関係部  
署に多くあったと思いま  
す。

また、防災無線で漏水箇  
所を点検するよう注意を促  
していましたが、家の中で  
は聞き取りにくいと話す方  
も多くいました。



議員 正男 高田  
所属(党) 清政クラブ 無所属

町内会長さんも地区住民  
への注意を促していました  
が、情報がうまく伝わって  
いないようでした。

町内会長さんも地区住民  
への注意を促していました  
が、情報がうまく伝わって  
いないようでした。



提供はどの様に伝達するの  
かもお聞かせ願います。

答 断水の発生や復旧状  
況の把握について、上  
下水道課職員を常駐させ、  
最新の情報を収集し、該当  
する地域のみに情報発信  
し、誤解を招かないよう努  
めたところです。

防災無線は、基本的に屋  
外への人に対していち早く  
簡潔に伝える施設として運  
用していますので、その内  
容を確認したい場合には、  
テレホンサービス（018  
0-997911番）やス  
マートフォンのメールアドレス  
を登録することによ  
り、放送内容を電子メール  
で受け取る方法もありま  
す。

また、ホームページをご  
覧いただくか、防災対策課  
までお尋ねいただきたいと  
思います。

ケーブルテレビ加入者の  
皆様には、音声告知端末に  
より情報提供していますの  
で、未加入の皆様には是非  
ご加入をお願いしたいと思  
います。



小山 栄 議員  
(所属会派) 拓政会  
(党 派) 自由民主党

質問した項目

◎異常寒波について  
○農機具購入の補助について

**問** 除雪対策に関し、今後のオペレーター育成についての考えを伺います。

**答** 先月及び今月における記録的な大雪に対し、休日を返上して長時間の除雪及び排雪作業を行っていたいただきましたオペレーターの皆様方、そして、関係する建設業者の皆様方に心から感謝を申し上げます。  
さて、市内における除雪業者は、近年、廃業等により年々減少し続けています。  
そこで、本市では今後除雪体制の維持を図るた



め、新年度予算で除雪ドザー2台の購入費用を計上しています。  
また、各業者ではベテランオペレーターの世代交代が続いており、次世代を担うオペレーターの育成は、喫緊の課題となっております。  
その課題に対する取組みにつきましては、石川県と合同で年に1回、除雪機械操作技能研修会を実施し、除雪技術の向上に取り組んでいるところです。

さらに、石川県労働局指定教習機関での技能講習会へ参加する費用等の助成を行えないか、県内他市町の状況を見ながら検討してまいりたいと考えています。

**問** 倒木対策に関し、倒木で住家に被害が想定される樹木を事前に除去できないのか伺います。

**答** 本市では自然災害にあって、市民の皆様方が所有する住宅に被害をもたらした又はもたらす可能性が高いと認められる樹木、土砂、雪などを取り除くための補助制度を設けており、「国や県の補助制度の対象とならないこと」などの補助対象要件を満たす10万円を超えた部分の経費につきまして、上限を30万円として補助金を交付していません。

強風や着雪により住宅へ著しく傾くなど、被害を及ぼす危険が切迫していると客観的に判断できる樹木を取り除く事業につきましては、この補助制度の対象になるものと考えています。

行政視察受入

- 《1月》  
17日 茨城県銚田市議会 (6名)  
19日 茨城県稲敷郡河内町議会 (12名)
- 《2月》  
1日 京都府京丹後市議会 (5名)  
7日 茨城県日立市議会 (5名)
- 《3月》  
なし

平成29年度4月～3月

合計 36件 (243名)

次の定例会は6月です

本会議の生中継・録画は  
●輪島市ケーブルテレビ9チャンネル、  
●市議会のホームページで見られます。  
(ホームページアドレス)  
<http://www.city.wajima.ishikawa.jp/categories/bunya/gikai/>

◎おわびと訂正

第48号に掲載した内容に誤りがありました。おわびして訂正いたします。  
12頁 ■ 議会報編集委員会  
【誤】委員長 森 裕一 【正】委員長 森 正樹

輪島中学校建設特別委員会活動報告

輪島中学校建設特別委員会の調査終了について、委員会での経過と結果をご報告します。

当委員会は平成27年6月の第2回定例会において、「輪島中学校の建設に関すること」について調査研究を行うために設置されました。

これまでに、施設面では、近年建設を終えた富山県射水市の新湊中学校、石川県の羽咋中学校、宇ノ気中学校、河北台中学校を、また運営面では、東京都荒川区や千葉県習志野市、浦安市の取組みを視察したことも踏まえ、執行部に対して助言または提言を行った結果、記憶に残る学び舎として輪島の街並みをモチーフにした外観を備え、これまでより広い体育館を有し、アリーナ・武道場・全天候型広場には災害時に避難施設としても活用することもできるような非常用電源設備を設けるなど防災に対し配慮することができました。  
また、建設工事の進捗について適宜報告を受け、必要に応じて詳細な説明を求めることで確認を行ってきました。  
今般、新輪島中学校の建設は無事竣工しましたが、今後、本当に輪島中学校を「未来を切り開く頼もしい子どもの育成ができる」、「市民の皆様が愛される」中学校とするため、引き続き取り組んでいきたいという趣意を申し上げ、ご報告いたします。

# 常任委員会報告(抜粋)

## 予算決算委員会 各分科会

付託された予算議案20件

については、2月19日の総括質疑の後、3分科会に詳細に審査を依頼し、細部にわたり審査をいただいた後、22日の本委員会では採決を行ったところ、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定しました。

質疑の主なものとしては、マイナンバーカードの普及が進んでおらず、このままでは予算のあり方自体を考えないといけないのではないかとこの質疑があり、住民票のコンビニ交付など利便性が高まれば普及が進むものと考えているとの答弁がありました。

次に、空家等対策事業費では、具体的な内容や緊急安全代執行における解体命令について質疑があり、空家等活用推進協議会の運営補助費用や緊急安全代執行による特定空家を取り壊す事業費等を含むものとなり、解体命令を行うまでに相当の時間が必要になると

の答弁がありました。

次に、ハザードマップ作成事業費について質疑があり、経年により道路や建物、避難施設が変わってきており、再整備が必要となったとの答弁がありました。

次に、図書購入費について交付税算入分は十分活用するべきではないかとの質疑があり、引き続き必要な予算は確保してまいりたいとの答弁がありました。

次に、今回の断水による今後の対応について質疑があり、給水状態のまま転出されている家屋を今後調査、把握し、開閉栓の手続をお願いしていきたいと考えているとの答弁がありました。



そのほか、市政全般にわたり質疑が行われました。

次に、運転免許制度の改正による消防団員の中型免許取得助成について質疑があり、執行部からは、現在、免許取得を必要とする消防団員はおらず、予算措置はしていないが、今後必要となった場合は助成を検討したいと答弁がありました。

## 総務分科会

光ファイバーケーブル等

貸付収入について質疑があり、執行部からは、市がケーブルテレビ整備のため敷設した光ファイバーケーブルの一部をNTTドコモに貸し付けており、その貸付収入であるとの答弁がありました。

次に、納税奨励金に関連し、納税組合の育成について質疑があり、執行部からは、組合数は納税組合員の高齢化や個人情報を取り扱うことなどの理由から年々減少傾向にあるが、納税組合により収納率は向上しており、新たな納税組合の育成について啓発したいと答弁がありました。

次に、運転免許制度の改正による消防団員の中型免許取得助成について質疑があり、執行部からは、現在、免許取得を必要とする消防団員はおらず、予算措置はしていないが、今後必要となった場合は助成を検討したいと答弁がありました。

次に、日本航空学園建設資金償還補助、地方債補正

の限度額の補正について質疑があり、それぞれ、入札による事業費の確定、償還利率の低下、事業実績の確定によるものとの答弁がありました。

## 教育民生分科会

チャイルドシート購入助成事業費について、購入ばかりではなく、リサイクル品を活用するなど多子世帯への支援をしてはどうかとの質疑があり、他市町の状況を踏まえ検討したいとの答弁がありました。

次に、乗岡記念健康センター管理費について、雨漏りをしていない建物を改修する計画はないのかとの質疑があり、利用者数も減少していることや経年劣化で、現在のところ修繕や改修は計画していないとの答弁がありました。

次に、教材費については、図書購入費について交付税算入分は十分活用するべきではないかとの質疑があり、引き続き必要な予算は確保してまいりたいとの答弁がありました。

次に、繰越明許費の設定

について、スクールバス購入費を何故繰り越すのか、購入までの対策はどうかとの質疑があり、スクールバスは新年度に納入見込みであり、購入まではリースで対応するとの答弁がありました。

## 用語解説

※繰越明許費とは

何らかの事情でその年度内に支出を終了しない見込みの経費について、議会の議決を経て、翌年度1年間に限り繰り越して使用できるようにする経費を繰越明許費といいます。

## 産業経済分科会

シルバー人材センター運営補助では、収支状況や経営状況について質疑があり、シルバー人材センターの運営の意義をふまえ、引き続き連携・調整を図って

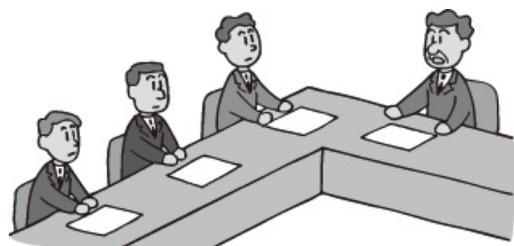
いきたいとの答弁がありました。

次に、漁業共済契約掛金助成事業費では、内容について質疑があり、各船の掛金のうち国庫補助金を除

たうちの10%を補助するもので、異常気象や不慮の事故に対する損失補償のための共済保険であるとの答弁がありました。

除排雪費では、業者への支払い方法や歩道除雪について質疑があり、業者への支払いについては、基本的には時間単価で昼間と夜間に分けて実績に応じて支払っているとのことでした。

また、除雪においては輪島市全体を見て除雪作業の指示を出していることから計画的に進めており、今後も状況を見ながら適宜対応していきたいとの答弁がありました。



## 総務委員会

議案第11号及び議案第15号は、門前総合支所庁舎において、門前地域の「公の施設」の機能集約等による施設の複合化を図り、当該庁舎を地域の核施設とするための条例を整備・改正するものです。

次に、議案第16号は、企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律の一部改正に伴い、関係規定の整備を図るものです。

次に、議案第28号は、水産業の経営近代化施設を整備する漁業経営構造改善事業を実施するため、輪島市過疎地域自立促進計画を変更するものです。

以上の4議案に対し、執行部から詳細な説明を聴取し、審査をいたしました結果、本委員会に付託された議案については、いずれも全会一致で可決すべきものと決定しました。

## 教育民生委員会

議案第12号は、介護が必要とされる方が自宅で適切にサービスを利用できる「居宅介護支援」についての基準等を条例で定めるもので、国の基準以外の「市独自基準」としては、暴力団の排除や書類の保存期間を5年間に延長することとなります。

次に、議案第17号は、県内他市町と同様に「出産育児一時金」を見直すものであり、被保険者が出産により支給される額を42万円とし、別途一般会計から支出される「出産祝い金」をあわせれば、一子につき一律45万円となるものです。

次に、議案第18号は、国民健康保険税の改正を行うとするものであり、課税限度額は8万円増加し93万円と国基準どおりとするものの、保険税額を一人あたりマイナス9.4%、一世帯あたりマイナス11.7%と引下げるとともに、5割軽減と2

割軽減の基準額を拡大し、低所得者負担軽減の拡大を図ったものです。

次に、議案第19号は、現在、国保の住所地特例を受けている被保険者が、75歳到達などにより後期高齢者医療広域連合の被保険者となる場合には、前住所地の市町村が加入する広域連合の被保険者となるように見直すものです。

次に、議案第20号は、国の幼児教育無償化に向けた段階的な取組みを受け、1号認定について第1子の保育料を軽減するものであり、現在、輪島市では、1号認定から3号認定までのすべての階層区分で、国基準より低い利用者負担となつています。

次に、議案第21号は、3年ごとに見直しされる「第7期介護保険事業計画」策定に伴い、平成30年1月17日に介護保険運営委員会より、平成30年度改定で介護報酬が0.54%の増加、平成31年10月に消費税の引き上げ予定、介護職員のさらなる待遇改善等により、介護保

険料は上げざるを得ないと回答を受け、介護保険料の基準額を月額280円増とするものです。

次に、議案第22号、議案第23号、議案第24号の3件は、介護保険法の規定により、厚生労働省令を基準として市の条例で定めることとされており、この基準を満たす指定事業者がサービス等を提供することとなり、特に地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律では、平成30年4月1日から、児童福祉法や障害者総合支援法の指定を受けている事業者も条例の基準を満たせば、共生型サービスとして提供できることとなります。

また、日常的な医学管理や看取り・ターミナルケア等の推進と、「生活施設としての機能を兼ね備えた「介護医療院」という新たな介護保険施設を創設したことを受けたものです。

次に、議案第29号は、共同処理事務から、し尿処理施設に関する事務を削除

し、ごみ焼却施設に関する事務を追加するものです。

最後に、議案第30号は、し尿処理施設の土地の帰属について、穴水町と折半するものです。

これら付託された議案及び所管事項で、特に議案第18号及び議案第21号については、それぞれ国民健康保険税と介護保険料の改正根拠について、執行部より詳細な資料の提出を受け、慎重に審査を行い採決を行ったところ、全ての議案について、いずれも全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

## 産業経済委員会

議案第13号は、都市緑地法等の一部を改正する法律の施行による建築基準法の一部改正に伴い、関係規定の整備を図るものです。

議案第14号は、本市下水道事業に地方公営企業法の規定の全部を適用することに伴い、関係条例の整備を

図るものです。

議案第25号は、企業立地の促進による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律の一部改正に伴い、関係規定の整備を図るものです。

議案第26号は、都市緑地法等の一部を改正する法律の施行に伴い、都市公園における運動施設が占める割合の上限を市の条例で定めることとされたものです。

議案第27号は、公営住宅法の一部改正に伴い、認知症等の者の収入申告義務を緩和し、市が官公署の書類の閲覧等により収入状況を把握し、それに基づき家賃を決定するものです。

議案第31号は、市の区域内に存する道路について、その路線を認定し、市が管理することにより道路網の整備を図るものです。

これらの議案6件に対して、執行部から説明を聴取し、質疑をし、採決を行ったところ、全会一致で、いずれも可決すべきものと決定しました。

# 第1回定例会議決結果一覧

- 市長提出議案：予算10件、補正予算10件、条例の制定2件、条例の整理・整備2件、条例の一部改正13件、その他4件（議案第1号から議案第41号）
- 議員提出議案：条例の一部改正（議会議案第1号）

## ■全会一致で議決された議案

議案番号	件名	議決結果
議案第2号	平成30年度輪島市土地取得事業特別会計予算	原案可決
議案第3号	平成30年度輪島市臨海土地造成事業特別会計予算	原案可決
議案第5号	平成30年度輪島市国民健康保険特別会計（直営診療施設勘定）予算	原案可決
議案第6号	平成30年度輪島市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第8号	平成30年度輪島市水道事業会計予算	原案可決
議案第9号	平成30年度輪島市下水道事業会計予算	原案可決
議案第10号	平成30年度輪島市病院事業会計予算	原案可決
議案第12号	輪島市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定について	原案可決
議案第13号	都市緑地法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決
議案第14号	輪島市下水道事業に地方公営企業法の規定の全部を適用することに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決
議案第15号	輪島市コミュニティセンター条例の一部改正について	原案可決
議案第16号	輪島市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第18号	輪島市国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決
議案第19号	輪島市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第20号	輪島市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第22号	輪島市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第23号	輪島市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第24号	輪島市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第25号	輪島市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第26号	輪島市都市公園条例の一部改正について	原案可決
議案第27号	輪島市市営住宅条例の一部改正について	原案可決
議案第28号	輪島市過疎地域自立促進計画の変更について	原案可決
議案第29号	輪島市穴水町環境衛生施設組合格約の変更について	原案可決
議案第30号	輪島市穴水町環境衛生施設組合格約の変更に伴う財産処分について	原案可決
議案第31号	市道路線の認定について	原案可決
議案第32号	平成29年度輪島市一般会計補正予算（第5号）	原案可決
議案第33号	平成29年度輪島市国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）	原案可決

議案番号	件名	議決結果
議案第34号	平成29年度輪島市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第35号	平成29年度輪島市介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第36号	平成29年度輪島市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第37号	平成29年度輪島市特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第38号	平成29年度輪島市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第39号	平成29年度輪島市浄化槽事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第40号	平成29年度輪島市病院事業会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第41号	平成29年度輪島市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
議会議案第1号	輪島市議会委員会条例の一部を改正する条例	原案可決

### ■賛否が分かれた議案等

議案番号	議案名	議決結果	拓政会											市政会	魁	日本共産党	清政クラブ	勇気				
			中山勝	橋本重勝	玉岡了英	小山栄	椿原正洋	大宮正	漆谷豊和	森正樹	二三秀仁	西恵	森裕一						坂本賢治	上平公一	竹田一郎	鎧邦夫
議案第1号	平成30年度輪島市一般会計予算	原案可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	○	○
議案第4号	平成30年度輪島市国民健康保険特別会計(事業勘定)予算	原案可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	○	○
議案第7号	平成30年度輪島市介護保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	○	○
議案第11号	輪島市門前交流センター条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	○	○
議案第17号	輪島市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	○	○
議案第21号	輪島市介護保険条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	○	○

※○は賛成、×は反対、欠は欠席です。議長(椿原 正洋)は採決に加わりません。

## 第1回臨時会議決結果一覧

- 市長提出議案：専決処分1件(補正予算1件)、条例の一部改正1件、人事案件4件(議案第42号から議案第47号)
- 議員提出議案：条例の一部改正(議会議案第2号)

## ■全会一致で議決された議案

議案番号	件名	議決結果
議案第42号	専決処分の承認を求めることについて(平成29年度輪島市一般会計補正予算(第6号))	承認
議案第43号	輪島市役所部設置条例の一部改正について	原案可決
議案第44号	公平委員会委員選任につき同意を求めることについて	同意
議案第45号	固定資産評価審査委員会委員選任につき同意を求めることについて	同意
議案第46号	教育委員会教育長任命につき同意を求めることについて	同意
議案第47号	教育委員会委員任命につき同意を求めることについて	同意
議会議案第2号	輪島市議会委員会条例の一部を改正する条例について	原案可決

## ● 議会日誌 ●

- 《1月》**  
 10日・議会運営委員会  
 19日・第98回能登五市議会  
 議長会定期総会  
 23日・全員協議会  
 ・輪島中学校建設特別委員会  
**《2月》**  
 1日・全国広域連携市議会協議会  
 第49回総会  
 2日・議会運営委員会  
 ・各常任委員会  
 5日・全国高速自動車道市議会  
 協議会第44回定期総会  
 6日・石川北部RDF広域処理組合  
 第1回議会運営委員会  
 ・全国離島振興市町村議会  
 議長会総会  
 7日・全国市議会議長会基地協議会  
 第90回理事会・第81回総会  
 9日・本会議  
 ・全員協議会  
 13日・議会運営委員会  
 ・石川県市議会議長会  
 定期総会  
 15日・奥能登広域圏事務組合議会  
 議員協議会  
 16日・本会議  
 19日・予算決算委員会  
**《2月》**  
 20日・総務委員会  
 予算決算総務分科会  
 ・教育民生委員会  
 予算決算教育民生分科会  
 ・産業経済委員会  
 予算決算産業経済分科会  
 21日・石川県後期高齢者医療  
 広域連合議会定例会  
 22日・予算決算委員会  
 23日・石川北部RDF広域処理組合  
 議会定例会  
 26日・議会運営委員会  
 ・全員協議会  
 28日・奥能登広域圏事務組合議会  
 議員協議会・定例会  
**《3月》**  
 15日・輪島市穴水町環境衛生施設  
 組合議会定例会  
 22日・議会運営委員会  
 ・全員協議会  
 27日・奥能登広域圏事務組合議会  
 議員協議会・臨時会  
 28日・議会運営委員会  
 ・全員協議会  
 本会議(臨時会)  
 予算決算委員会  
 総務委員会  
 公共施設等調査特別委員会

## 編集後記

今年の冬は例年になく厳しさ  
 で、水道管の凍結による断水が  
 あり、市民生活に大変な影響が  
 ありました。

そのような中、石川県内の自  
 衛隊の方々や、県内外の自治体  
 の皆さん、また、東京輪島会を  
 初め、数多くの企業からも多大  
 なるご支援をいただきました。

あらためて「自助・共助・公助」  
 の大切さを認識しました。

そんな長かった冬も終わり、  
 まちには新入生の元気な声があ  
 ふれています。

これから連休などで、出かけ  
 る機会も増えると思いますが、  
 事故のないようにお過ごし下さ  
 い。

### ■ 議会報編集委員会

- |      |        |
|------|--------|
| 委員長  | 森 正樹   |
| 副委員長 | 西 恵    |
| 委員   | 漆谷 豊和  |
|      | 一二三 秀仁 |
|      | 高田 正男  |
|      | 下 善裕   |